

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	市有林等環境整備事業			事業コード	2838
担当課等	所属名	農林部 林政課	担当係名		
	課長名	農林部 林政課	担当者名	澤口勝敏	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	活力ある農林業の振興	コード 1
	基本事業	生産基盤の整備	コード 2	関連予算 費目名	一般会計 6款 2項 2目 市有林等環境整備事業 (018-07)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒ (開始年度 21年度～)					
事務事業の概要	非正規労働者、中高年齢者等の一時的な雇用・就労機会の創出などのために県が基金を創設し、これを財源として行われる緊急雇用創出事業により、市有林、市行造林、森林公園及び林道の環境保全のための作業を、盛岡市森林組合への委託により行うものである。					
根拠法令等	-					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
平成21年度に開始された国の雇用対策事業である。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
特に意見・要望は寄せられていない。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
来年度以降の事業の継続の見通しは不確定である。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	非正規労働者・中高年齢者の失業者 公有林の経営面積 林道の維持管理延長	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 新規雇用者数 B. 公有林経営面積 C. 林道維持管理延長	単位 人 単位 ha 単位 m
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) ・非正規労働者・中高年齢者の失業者の雇用 ・市有林、森林公園及び林道等における刈払い、側溝浚渫作業等の実施 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 22年度と同じ	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 新規雇用者数 B. 公有林経営面積 C. 林道維持管理延長	単位 人 単位 ha 単位 m
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	・失業者に対して、次の雇用までの短期的雇用・就業機会を創出・提供することにより、これらの者の生活の安定を図る。 ・市有林、市行造林及び森林公園の作業道、歩道、境界等の刈払い等を行うことにより、管理の効率を高め、適正な管理を行う。 ・林道を良好な状態に保ち、降雨等の災害の防止に効果を発揮する。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 新規雇用者数 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】 B. 公有林経営面積 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】 C. 林道維持管理延長 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】	単位 人 単位 ha 単位 m
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	生産性の向上が図られる 生活環境の改善が図られる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	水田面積(単位:ha) 畑地面積(単位:ha) 樹園地面積(単位:ha) 民有林面積(単位:ha)	

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	新規雇用者数	人	-	7	8	8	8		年度
対象 指標B	公有林経営面積	ha	-	2802	2802	2802	2802		年度
対象 指標C	林道維持管理延長	m	-	170313	170313	170313	170313		年度
活動 指標A	新規雇用者数	人	-	7	8	8	8		年度
活動 指標B	公有林経営面積	ha	-	2802	2802	2802	2802		年度
活動 指標C	林道維持管理延長	m	-	170313	170313	170313	170313		年度
成果 指標A	新規雇用者数	人	-	7	8	8	8		年度
成果 指標B	公有林経営面積	ha	-	2802	2802	2802	2802		年度
成果 指標C	林道維持管理延長	m	-	170313	170313	170313	170313		年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	****
事業費	A	千円	0	6,563	5,042	5,030	5,299		****
財源 内訳	④国	千円	0	0	0	0	0		****
	⑤県	千円	0	6,563	5,042	5,030	5,299		****
	⑥地方債	千円	0	0	0	0	0		****
	⑦一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	****
	⑧その他	千円	0	0	0	0	0		****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	0	6,563	5,042	5,030	5,299		****
	延べ業務時間数	時間	0	160	160	160	160		****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	0	640	640	640	640	0	****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	7,203	5,682	5,670	5,939	0	****


3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	①施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 新規雇用の創出に資するとともに、市有林や林道等の環境整備を実施することにより、農林基盤の整備が図られる。
	②公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 雇用対策及び市が経営する市有林や林道等の管理は、市が自ら行うべきである。
	③対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 採択要件を満たすものについて、実施しているので妥当である。
	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 事業実施要領に基づき採択を受けて行う事業である。
有効性評価	⑤成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	理由: 実施要領に基づき、採択要件を満たすものについて事業実施している。
	⑥廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 失業者の雇用機会が減ること、市有林や林道等の管理に影響を与える。
	⑦類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 農林道環境整備事業 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由: 本事業は県に創設された基金事業であり、市単独事業との統廃合はできない。
効率性評価	⑧事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 雇用の機会を確保し、失業者の生活の安定を図る事業である。
	⑨人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 最低限の職員体制で効率的に行っている。
公平性評価	⑩受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:
	⑪費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革 改善 方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること ②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)
----------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5. 課長意見

一次 評価	(1)一次評価者としての評価結果 ① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :	(2)全体総括(振り返り、反省点) 市有林内の作業道の刈払いにより、管理経営上、有効な事業となっている。
今後 の 方向 性 と 改 革 改 善 案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案) <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	
		
方向付けの理由と改革改善の内容 今後も市有林の管理経営上だけでなく、雇用対策や山間地域の活性化に資する事業として、継続を図る。		